

様式第3号(第4条関係)

会 議 録

1. 附属機関等の会議の名称 第5回「元気センター(仮称)」建設委員会

2. 開催日時 令和4年6月23日(木) 18時30分から20時30分まで

3. 開催場所 松川町役場2階 協議会室

4. 出席者氏名 「元気センター(仮称)」建設委員

【建設委員】

- ・松川町議会 米山 郁子
- ・松川町社協 栗畑 孝弘
- ・身体障がい者福祉会 小木曾 茂
- ・地域活動支援センター 飯島 光
- ・公募委員 宮澤 武彦
- ・松川町議会 坂本 勇治
- ・松川町福祉を考える会 原 節子
- ・エコール親愛 神保 栄子
- ・親愛の里松川 藤澤 恵
- ・松川町商工会 細田 勉

【設計担当業者】(リモート)

- ・玉川 幹夫、牧野 恵子、丸山 飛鳥

【事務局】

- ・塩倉 智文、伊藤 遼太、原 涼太

5. 議題(公開)

- (1)パブリックコメント等を受けての基本設計の仕様検討について
- (2)その他

6. 非公開の理由(会議を非公開とした場合)

—

7. 傍聴人の数

0人

8. 会議資料の名称

- ・第5回「元気センター(仮称)」建設委員会 次第
- ・継続検討リスト
- ・正形案検討案

- ・配置平面図
- ・トイレ・廊下面積比較表

9. 協議の概要

1. 開会 課長

2. あいさつ 課長

3. 会議事項

(1) パブリックコメント等を受けての基本設計の仕様検討について

事務局、設計担当者より説明。

(質疑)

事務局:パブリックコメントにあった車寄せについては運転席側まで隠れる仕様にしてほしいという
ことで宜しいか。また、運転手以外にも右側から乗降りするというで宜しいか。

委員:2 つともそれでよい。前回の建設委員会で了解もらった。今の図面の仕様だと運転席
側まで隠れない仕様になっていると思う。

事務局:運転手は車寄せで降りるという設定なのか。公用車用の駐車場が別の場所にあるた
め、ここでは降りないのではないかと思う。

社協:お客さんが降りるときは介助が必要になるため、車寄せでは必ず降りる。

事務局:設計担当業者に確認したい。車寄せの屋根を広げると屋根の強度が心配。柱等は必
要になるのか。

設計担当:屋根を大きくすればするほど柱は必要になってくる。好きなだけ伸ばすというのは難し
い。

事務局:確認したい。柱を追加せずに運転席側まで隠すことは可能なのか。

設計担当:やろう思えばできる。

事務局:利用者の乗降りは助手席側かと思うが、運転手の為にもあったほうが良いということか。

社協:運転手の為だけにということはないが、今後何十年も使っていく施設。軒は長いほうが
良いと思う。お金の面でどれだけ変わってくるかはわからないがいろいろな恩恵に与れ
ると思う。

委員:屋根は建物にはつながっていないのか。

設計担当:建物と一体で作る。

委員:建物とつながっているんであれば 30cm~40cm出せるのではないかと思う。

設計担当:つながってはいるが支点になるのが柱。現在は 2.5mほど張り出す計画になっており、
極端に張り出すのは難しい。

事務局:物理的に隠すことは可能なのか。

設計担当:やったとしても 30cm~50cmが限界。

委員:この底は木造なのか。鉄骨であれば可能だが、木造だと 2.5m以上張り出すのは難しい

のではないか。

設計担当:鉄骨でないと難しいかもしれない。

委員:底だけ鉄骨にすることは可能か。建物が木造ということで、少し独立してしまうが鉄骨にすればもう少し大きくできるような気がする。

委員:場合によっては建物側にも補強の鉄骨を建てて旗持ちさせる必要がある。木造で固定だけでは厳しいと思う。

事務局:予算のこともあるため、町と設計業者で話をさせてもらう。その上で無理となった場合は運転手に濡れていただくしかないと思う。課題として預かる。

社協的には底を1台分のみにして空くまで後ろで待っているという仕様ではダメなのか。

委員:それしかできないのであればしょうがないが、当初からお願いしているとおおり、2台が全て隠れる底にしてほしい。大きい庇はいろいろなイベントなどにも活用できると思う。

事務局:パブリックコメントで廊下やトイレ幅についての意見があった。実際に広くできるのか。

設計担当:柱の関係で好きに廊下を広くしていくというのは難しい。様々な要望を加味して、必要最低限の幅(90cm)をとっている。共用の廊下についても構造上の問題で難しい。面積の関係から吹き抜け側に廊下を広くすることはできないため、活動室や静養室が狭くなってしまふ。今回、男女のトイレの入口を分けたことにより、狭くなってしまっている。

事務局:幅90cmは手すりを考慮していない数字ということで宜しいか。

設計担当:宜しい。

事務局:廊下については、周りがロビーということでそこまで圧迫感は感じないと思う。

事務局:子供用スペースの壁も低い為、同じく狭くは感じないと思う。

委員:面積はこれ以上増やせないのか。

事務局:この面積が限界。

事務局:1,000平米を超えてしまうと消防法、建築法の関係で仕様をもっとつけなければいけなくなるためこれ以上面積を増やすのは難しい。

委員:この施設はトイレに行くための施設ではない。公民館のトイレが90cmならば元気センターも90cmあれば良いと思う。

事務局:2階に関しては廊下にどれだけの空間があるかによって変わってくるかと思う。ずっと壁だと狭く感じると思うが活動室の扉を開けばなしにすることで少し違ってくるかなと思っている。

委員:トイレの廊下が90cmしかないが車いすは通れるのか。

事務局:車いすの方には多目的トイレを使ってもらおう。

委員:この意見は社協からの意見。利用者の状況を見て要望したが、面積が限られているとなるとどこをとるかということになる。今回、トイレを大きくしてもらったがその分、活動室がかなり縮小させられてしまった。

事務局:女性の個室を広くしたため、活動室が狭くなってしまった。

事務局: 今日、結論を出そうとは思っていない。一旦、持ち帰ってもらって出た意見を整理してきてほしい。説明していなかったが、A4の資料は楔型から長方形にした場合にどのような影響があるかを記してある。主に駐車場が狭くなってしまう。楔型にすると技術的な問題が大きいとの意見もあるがどのような問題があるのか確認したい。

設計担当: 構造については特段問題はない。角度は増えているが柱と柱の間の寸法は常に一定に保っているため無駄が出ることもない。構造上特に無理をしているわけではなく、十分考慮した上で形を作っているため大丈夫だと思う。

委員: まちカフェのトイレについて、利便性を考えてこの位置にしたと思うが、オープンキッチンの前がトイレになってしまう。女性と男性のトイレを分けるという話もあったが、そういったことと照らし合わせても使いづらいのではないかと思う。

事務局: 役場の女性職員数名にも聞いてみたが入り口が一緒だと気になるという者もいた。

事務局: オープンキッチンはトイレ側に開口口はあるのか。

設計担当: ある。見える環境ではあるがそこが気になるようであれば壁にする等の対策はできる。

事務局: 外にトイレの入口があってトイレを壁で見えなくするというのはどうか。トイレは臭いという悪いイメージがある。壁になれば少しは違うかなと思う。そうすればまちかど広場を利用する人たちにも使用してもらえるかと思う。

設計担当: 今、オープンのところを少しクローズするか、トイレを今のキッチン側にもってきてキッチンを広場側にずらすというのもありかもしれない。そうすると、窓側が全てオープンになるため、開かれた施設という意味で良いかもしれない。

委員: まちカフェは喫茶店機能を強化するという考え方なのか。また、前の図面から追加されたみんなのキッチンの使い方を聞きたい。みんなのキッチンで親愛の里さんがお菓子作り等できるのであれば、まちカフェの方は本格的な喫茶店みたいなものを設けることも可能かなと思った。その辺の使い方の想定を教えてください。

事務局: みんなのキッチンについては今言われたような認識でいる。調理室では弁当を作るというのを想定しているが、ランチ等も提供できる場所にしていきたいという思いがある。みんなのキッチンとの兼ね合いもあるが、元気センター内であればどこでも好きな場所で食事可能というような自由なところにしていきたいと思っている。みんなのキッチンがあるからランチの提供が難しくなるということは考えていない。みんなのキッチンは誰でも使用できるようにしたい。あすなろの調理プログラムで使用したり、住民の方が使用したり等を想定している。

その中で、まちカフェについては有人になるのか無人になるのかはまだこれからだが気軽に来てセルフのコーヒーマーカー等でコーヒーを飲みながら勉強したり、雑談したり、無人販売でお菓子を置いてといったような何かそういったものを楽しめる空間にしたほうが皆が来やすいのかなとは思っている。

事務局: 本格的な喫茶店になると人を雇わないといけなくなる。業者の方に入っただけのかどうかというのが出てくる。まずはいづらか払って自分でコーヒーを淹れるという風になる

と思う。キッチンもあるためお湯を沸かして紅茶を淹れたりすることもできたらいいなと思う。事務室からは少し離れてしまうため火気の取り扱い、火災の予防も考えていかないといけないのかなと思う。

委員:パブコメの中にもあったが伊那の駅前に障がいをもった方たちがやっているパン屋のようなお店がある。皆がそこで働けてその物を目当てにお客さんも来るような、そんな施設が出来ていくといいかなと思う。

事務局:補助金が出るようなものだとできる気がする。

事務局:使用目的としてまちカフェはみんなが集える場所、みんなのキッチンは調理プログラムを行ったり、自由に料理ができる場所、調理室は弁当を作ったりとか販売目的の物を作る。そういうイメージでいる。

委員:親愛さんはそれで大丈夫か。

委員:元々、調理室側での活動を想定していたが、まちカフェで行うとなった。まちカフェでもできなくはないかなという風に考えていた。導線や支援のしやすさを考えればみんなのキッチンの方が活動しやすくなるのかなと思う。

ただ、私たちからするとあすなろやエコールの活動を知ってもらいたいという思いもある。

活動がみえるという意味ではまちカフェはすごく良い場所だったのかなと思う。そのあたりが、みんなのキッチンだけしか使用できないのか、場合によってはまちカフェも使っているですよとなれば嬉しい。

あすなろの中で仕事はしたいけど一般の事業所はハードルが高くて働けないような方たちもいる。まちカフェで店番のようなこともさせてもらえば練習にもなると思う。そこで自信をつけたり、役割をもらったりというようなところもできなくはないかなと思う。

設計担当:意見として1点伝えたい。放課後デイに専用のおやつ提供スペースがあり、そこに調理機器があるが、そこで調理をするのではなく、みんなのキッチンで行うということはあるか。あすなろは難しそうだが、放課後デイはできそうか。

委員:おやつ提供スペースをみんなのキッチンと併用ということで宜しいか。

設計担当:宜しい。その部屋は活動室のような形にする。キッチンは共用部を使ってもらう。

委員:おやつ提供スペースは調理というよりも購入したものを提供するという側面がある。調理器具よりも収納だったり座席数が必要になってくる。子供たちの中には特定の決まった席でおやつを食べることが安心するという子供もいるため併用は難しい。おやつ提供スペースに関しては、事業所内に設置してもらえればと思う。

ただ、子供の人数が多かったり、感染対策というようなことがあればみんなのダイニング等を使わせてもらえればと思う。

事務局:今現在、流しもついているがこれも必要ということで宜しいか。

委員:宜しい。

設計担当:IHもあるがそれも付けたほうが良いのか。

委員:うーん...

お茶等をこっちでというようであれば、それもできなくはないかなと思う。

設計担当:可能ならみんなのキッチンを使ってもらったほうが良いかと思う。

今だとどっちつかずになってしまっており、少し設備が過剰に見えてしまう。

事務局:流し台やIHの調理器具まで必要かどうかをもう一度検討してほしい。

委員:それぞれの事業のタイムスケジュール等を共有しておいたほうが良い。時間によって空いているところを使用すれば施設を無駄なく広く使用できる。

もう1点。トイレの入口は女性と男性が分けて入る必要があるのか。

事務局:女性からの強い意見。

事務局:先ほども言ったが、役場の女性職員何名かにも聞いた。中には気にならないという人もいたが、気になるという人も数名いた。

委員:そういう意見があるなら良い。

事務局:何か他に意見はあるか。

委員:どこの事業所がどこのスペースを使用するというのは決まっているのか。

事務局:利用者への配慮からあすなろと自殺対策精神保健相談窓口に関しては専用スペースになるかと思う。ただ、放課後デイやコミュカフェはある程度場所は決まっているが人数によって他の場所を使用したりということはある。

委員:決まっていらないということか。

事務局:先ほど言った配置で決まっている。

事務局:あすなろは入り口が奥まっているため、特に配慮がされている。入り口から入れない方が外からも入れるようにもしてある。喫煙コーナーが反対に側になってしまっている。そこは申し訳ないと思っている。

委員:2階の活動室3が少し狭くなってしまった。何かいいアイデアがあれば伺いたい。

委員:このトイレの個室のドアは引き戸なのか。引き戸にすれば個室と個室の間の通路はこんなに広くなくて良いと思う。前回の図面にはなかったが今回から物入が出来た。その物入まで広くできれば2畳分くらいは広くなると思う。それくらいしか考えられないと思う。

設計担当:個室を広くしたいという意見もある。どれを採用したら良いかというところ。

事務局:また相談させていただく。

委員:物入は物入で1ヶ所あっても良いかと思う。トイレ等を工夫してもう少し活動室3を広くしてもらえるとありがたい。

委員:町道97号線沿いに花壇があつて法面がある。道路に面したところは平らにしてしまったほうが良い。ずっと使う施設を危険な状態で置いておくわけにはいかない。

事務局:花壇の斜度は何度で設計したか。

設計担当:30度で設計した。

事務局:今、フェンスを設置したほうが良いのではないかという意見があった。また相談をさせていただく。

事務局:他に意見はあるか。

設計担当:最後に1点だけ。廊下の幅についてだが、現在、エレベーターや障がい者トイレ前は1.5mで他は1.2mにしている。廊下が狭いということなら1.5mの幅に合わせて全体を拡げるとことはどうか。その分、活動室等は狭くなってしまうが。

委員:どっちをとるかということになってくる。

設計担当:もし拡げるとなった場合は1階、2階ともに拡げなくてはいけない。

委員:どっちかとなると部屋が広いほうが良い。廊下幅はこのままで良い。

委員:パブリックコメントの回答はいつ公開されるのか。

事務局:すぐに整える。

他に意見はないか。

無いようなのでこれで閉会とする。

(2)その他

特に意見等はなし。

5.閉会

(20時30分終了)